

(様式3)

【那智勝浦町】
校務DX計画

那智勝浦町では令和4年度から校務支援システムを導入し、多様な働き方の実現に向けて環境を整備し、教員の働き方改革を推進しています。ICTをうまく活用し校務の効率化を図ることで、教職員の事務負担等を軽減し、働き方改革を推進することによって児童生徒と向き合う時間を増やすことに努めます。

また、「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果（文部科学省 令和5年11月実施）による状況を踏まえ、具体的な取り組みを以下のとおり示します。

(1) クラウドサービスのさらなる利活用

当町ではグループウェアを導入しており、クラウドサービスが活用できる体制になっています。学校間や学校と教育委員会との連絡や通知はクラウドサービスを活用した方法が一般的となっていますが、保護者への連絡についてはいまだ紙媒体での配布が主流となっています。クラウドサービスを活用することにより教職員の負担軽減にもつながることから、先進地域の事例を参考にしながら活用の幅が広がるよう推進していきます。

(2) FAX及び押印の見直し

災害やネットワークの不具合時などFAXが電子メール等より効率的な場合を除き、FAXでのやりとりは見直しを図ります。関係部署や学校とFAXでのやり取りがある事業者については教育委員会から慣行の見直しを依頼する等働きかけます。また、学校間や教育委員会と学校との連絡や通知については電子メールやクラウドサービスを活用し押印についての制度や慣行の見直しを行います。

(3) ペーパーレス化の推進

職員会議等でも紙ベースでなく端末を活用し、電子データを閲覧することによりペーパーレス化を推進します。

(4) 今後の校務支援システムの検討

現在の校務支援システムは令和4年度から導入しており、各業務の情報連携が進み、事務の効率化が図られました。このシステムの契約期間は令和9年12月末までとなっており、それ以降については次世代の校務支援システムの導入を検討していきます。